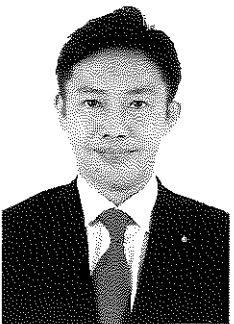


# 年頭のご挨拶

衆議院議員

中谷 真一



新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

また先の衆議院選挙においてご支援を賜り有難うございました。皆様のおかげで私も山梨県第1選挙区において勝利することができました。

今回の選挙を振り返りますと、4回目の選挙にして私は初めて安全保障を前面に出し訴えた選挙でした。安全保障は票にならないと言われていますが、支持者からの強い要請も受け、訴え続けました。そして、小選挙区で勝利できた事は時代の流れとも受け取れます。それだけ日本を取り巻く安全保障環境が悪化していると言えます。

中国の軍事費はこの20年あまりで7倍以上増え、日本周辺、東アジアの軍事バランスが崩れています。

米国もこれに対し中国を「競争相手」と明確に位置づけ、あらゆる面で摩擦

が起きています。現在の状況は、米ソ冷戦時代と重なりますが、地政学的に冷戦時は米国もソ連も軍事面方向はヨーロッパに向いていました。よって主戦場はヨーロッパでした。日本はどちらかというところ連の背後、裏庭にいたことになり、ヨーロッパほどの軍事圧力は受けてはいませんでした。

しかし、米中となると地政学的には軍事方面は東アジアへ向くことになり、日本はその最前線にいることになります。まず、日本が行わなければならないことは、価値観を共にする国々との集団安全保障体制を構築することです。この際、東アジアでリーダーシップを取るべきは日本であると考えます。さらに自力を高めることが必要です。その為に最も重要なのは防衛費の増額ですが、我が自民党も今回の衆院選公約で防衛費をNATO諸国の国防予算GDP費比目標（2%以上）も念頭とし防衛関係費の増額を目指すとして記しました。これを一刻も早く実現しなければ現状に対応できません。それぐらい中国と米国の力の差は縮小しているのです。

本年も日本を取り巻く安全保障環境はますます厳しくなることが予想されます。安全保障の現場を経験した議員として議論の先頭に立つ所存です。

皆様のご指導、ご支援を心からお願いたします。